

11月4日(金)

映画デビュー 100 周年記念作品

チャップリン からの 贈りもの



あべのコミュニティシネマ vol.43&44

喜劇王

チャップリン映画祭

12月9日(金)

モダン・ タイムス & 独裁者



阿倍野区民センター 小ホール 主催 株式会社 ビケンテクノ (06-4398-9377)
(株) 大阪映画センター (06-6719-2233)

喜劇王 チャップリン映画祭

あべのコミュニティシネマ（ACC）の7周年を記念し、これまで2ヶ月毎の偶数月に開催して参りました上映会をリニューアル！毎月、映画会を開催いたします！

偶数月は今までどおり懐かしの“名作上映会”。

奇数月は劇場公開を少し前に終えた秀作を上映する“名画座”を開催いたします。

名画座の初回になる11月は、“喜劇王チャップリン”の銀幕デビュー100周年を記念して作られた、1978年のチャップリン遺体誘拐事件をモチーフに、まるでチャップリン作品を想わせる、いっばいの愛が詰まった『チャップリンからの贈り物』を上映。

12月は、チャップリン初の前編トーキー作品で1940年公開、当時台頭してきたヒトラーの危険性へ警鐘を鳴らした『独裁者』と、機械化されていく世の中の流れへ、痛烈な風刺を込めて描いた『モダン・タイムス』の2作品を上映いたします。



奇数月の開催です！

2016.11.4(金)

- ① 11:00-12:55
- ② 14:00-15:55
- ③ 18:30-20:25

※デジタル上映となります。

チャップリン
からの
贈りもの

● 料金 ●

会員料金	800円
当日料金	900円
(前売券の販売はございません)	

モダン・タイムス & 独裁者

2016.12.9(金)

- ① モダン・タイムス 11:00-12:27
- ② 独裁者 13:30-15:34
- ③ モダン・タイムス 16:00-17:27
- ④ 独裁者 18:00-20:04

※2作品ともデジタル上映となります。



● 料金 (1作) ●

会員料金	800円
当日料金	900円
(前売券の販売はございません)	

● 2作共通券 ●

会員料金	1,300円
当日料金	1,400円

上映会場

阿倍野区民センター 小ホール

〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋4-19-118

● 地下鉄谷町線「阿倍野」6番出口反対側すぐ ● 阪堺上町線「阿倍野」下車徒歩2分

● お問い合わせ ● 大阪映画センター TEL 06-6719-2233

こちらのチラシご持参で
3名様まで会員価格でご鑑賞頂けます！



11月4日(金)

チャップリンからの贈りもの

チャップリンからの贈りもの
Price of Fame

世界が驚愕!

チャップリン遺体誘拐事件がまさかの映画化!

それは、喜劇王が遺してくれた、最高の贈りもの。



喜劇王チャップリンの遺体を誘拐?! 全世界を駆けめぐった驚愕のニュースの正体は、ドジな2人組のとんでもなくマヌケな犯行劇だった——。1978年に起きたまさかの事件が、遺族の全面協力を得て映画化。チャップリンが実際に住んだ美しい邸宅や墓地をロケ地に、チャップリンの息子や孫娘が当時の家族役などで特別出演。

『街の灯』『モダン・タイムス』『ライムライト』など往年の名画名曲名シーンを散りばめ、とことんツイていない人間たちのコミカルな大騒動を、巨匠ミシェル・ルグランの美しい音楽に乗せて描いた本作は、フレンチテイストが香る現代のチャップリン映画のよう。

“彼はいつだって弱者の味方だった——。” 天国のチャップリンに救いを求めた犯人2人が、最後に手にした人生の宝ものとは——。

数々の
不朽の名作映画の
オマージュ満載!

『ライムライト』

『街の灯』

『黄金狂時代』

『チャップリンの霊泉』

『モダン・タイムス』

『ロシュフォールの恋人たち』 etc...

本当にあった 驚きの誘拐事件!

1978年、チャップリンの死からおよそ2カ月後の3月、スイス・レマン湖畔のヴエーのお墓に埋葬された遺体が棺ごと盗まれた。事件は迷宮入りかと思われたが、すぐ犯人が判明。24歳のポーランド人と、38歳のアルガリア人が全てを犯行だった。身代金は日本円で約1億円、自動車工場をはじめ目論見だったという。

Story

スイス・レマン湖畔。お調子者のエディの親友オスマンは、娘がまだ小さく妻は入院中。医療費が払えなくなるほど貧しい生活を送っていた。そんな時テレビから“喜劇王チャップリン死去”という衝撃のニュースが。エディは埋葬されたチャップリンの柩を盗み身代金で生活を立て直そうと、弱気のオスマンを巻き込んで決死の犯行へ。ところが、詰めの甘い計画は次々にボロを出すばかりか、ツキのなさにも見舞われて崩壊寸前。あきらめかけた時、追詰められたオスマンが最後の賭けに出た。人生どん底の2人に救いの手は差し伸べられるのか——。

監督:グザヴィエ・ボーヴォワ「神々と男たち」カンヌ国際映画祭グランプリ 音楽:ミシェル・ルグラン「シェブルの雨傘」
出演:ブノワ・ポールヴェルド「ココ・アヴァン・シャネル」、ロシュディ・ゼム「あるいは裏切りという名の犬」、キアラ・マストロヤニ
配給:ギャガ GAGA★ ©Marie-Julie Maille / Why Not Productions

GAGA シアター

特別映像チェック!!
GAGAシアター 観る

@gagamovie

www.facebook.com/gagajapan

Chaplin.gaga.ne.jp



12月9日(金)

モダン・タイムス & 独裁者

人間性を失わせる機械文明を ユーモアで痛烈に批判。 声を出す！

チャップリンがスクリーンで初めて

オートメーション化された工場で働くチャーリーは、非人間的な労働のために正気を失う。工場を放り出された彼はひよんなことからパンを盗んだ少女と知り合いになる。彼女は父を亡くした孤児だったのだ。チャーリーは少女との生活のために何とかして仕事を得ようとするが…。1936年当時すでに機械文明の非人間性を予言し、それを笑いとペースで風刺した傑作喜劇。チャーリーが巨大な歯車に巻き込まれる場面、絶妙のパントマイム、ローラースケートの至芸、チャップリンが初めて歌声を聞かせた「ティティナ」、放浪紳士チャーリーと少女が手を取りあって歩き去るラストシーンなど、映画史上に残る爆笑と感動の名場面が続々と展開する。本作が出世作になったポーレット・ゴダードの輝くような美しさにも注目したい。

【STAFF】 監督・脚本・製作：
チャールズ・チャップリン

【CAST】 チャールズ・チャップリン
ポーレット・ゴダード ヘンリー・バーグマン チェスター・コンクリン
(1936年/アメリカ/87分/モノクロ/字幕スーパー)

ヒトラーにスクリーンを通して立ち向かう！ 命がけて撮った笑い、風刺あふれる傑作。

トメニア国の独裁者ヒンケルは、世界征服を目論み、人種の浄化を図るため、ユダヤ人をゲットーに押し込めて迫害をしていた。ところが、突撃隊が押し入った床屋のユダヤ人はヒンケルと瓜二つであった。その偶然がとんでもない事態を招き寄せることになる…。ヨーロッパで猛威を振るうファシズムの脅威をいち早く察知したチャップリンが、体を張った笑い、風刺で抵抗した勇気ある傑作。チャップリンにとって初の本格的なオール・トーキー映画である。チャップリンは世界征服の野望に燃える独裁者と善良なユダヤ人床屋の二役を演じ、ヒトラーの狂気を笑い飛ばし、その欺瞞を告発する。これまでのスタイルとは一転したラスト6分間の大演説は、ファシズムの恐ろしさを糾弾し、全人類が平和のために団結する必要性を訴えて、映画史上に残る名場面。当時、ドイツと同盟関係にあった日本では上映禁止となり、戦後15年経って公開されたが、その普遍的な主題が多くの人を感動させた。

【STAFF】 監督・脚本・製作：
チャールズ・チャップリン

【CAST】 チャールズ・チャップリン
ポーレット・ゴダード ジャック・オーキー
(1940年/アメリカ/124分/モノクロ/字幕スーパー)

